

# 2018年3月期 決算説明資料

菊水電子工業株式会社  
[www.kikusui.co.jp](http://www.kikusui.co.jp)



コンパクト・ワイドレンジ直流電源  
PWR-01シリーズ

# 目次

会社紹介	P3～
2018年3月期 連結業績概要	P12～
2019年3月期 連結業績予想	P23～
今後の事業戦略	P25～

# 会社紹介

# 会社紹介

## ● 会社概要 (2018年3月末現在)

社名(銘柄コード)	菊水電子工業株式会社(6912)	
設立	1951年(昭和26年)8月8日	
資本金	22億125万円(3月決算)	
発行済株式数	9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容	各種電子計測器・産業用電源装置・ソフトウェアの設計、製造、販売及び輸出入	
大株主 (自己株式は含まず)	株式会社ケーティーエム	10.92%
	菊水取引先持株会	10.47%
	菊水電子工業従業員持株会	5.44%
	株式会社みずほ銀行	4.32%
	小林寛子	4.17%
	日本生命保険相互会社	3.62%
	ケル株式会社	2.64%
	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.58%
	橋本幸雄	2.26%
	三井住友信託銀行株式会社	2.20%
代表者	代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)	293名(2018年3月末現在) □は前年比増減	
	研究開発:	79名 [△2]
	生産・購買:	83名 [+4]
	営業:	102名 [+3]
	管理:	29名 [△4]
主要納入先 (順不同)	防衛省、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社、日本電気株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社デンソー	

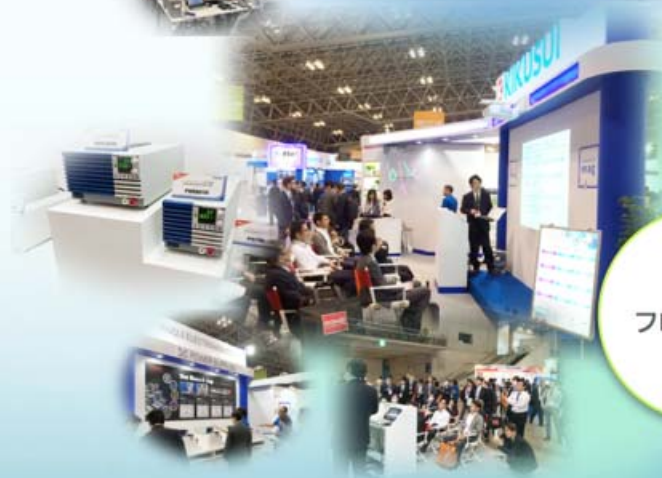
販促コミック  
(ハイカワ)  
掲載開始



本社移転  
(横浜市都筑区  
センター南)



テクノ  
フロンティア  
2017



# 会社紹介

## ● 国内外拠点・関連子会社



●は海外代理店

### 国内拠点

本社

菊水創発センター(開発拠点)

富士勝山事業所(製造拠点)

営業所:横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡(出張所)

### 関連子会社

フジテック株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)  
1986年6月設立 連結 出資比率:75%

KIKUSUI AMERICA, INC.(米国カリフォルニア州サンタクララ市)  
2004年10月設立 連結 出資比率:100%

菊水貿易(上海)有限公司(中国 上海市)  
2006年6月設立 連結 出資比率:100%

# 会社紹介

## ● 沿革

**1951**  
昭和26年

株式会社菊水電波設立  
8月8日、東京都大田区高津にて  
資本金30万円、従業員4名、従業員名で発足  
主要製品はラジオ用ダイヤル

創業社長 小林 隆  
1909年10月、山口県

創業時のダイヤル

創業時の建屋

創業メンバー  
小林正樹 (取締役)、小林 隆 (取締役)、菊水栄造 (取締役)  
渡辺正洋 (取締役)、一畑重雄、川崎 隆夫

**1957**  
昭和32年

ダイヤルから  
測定器メーカー菊水へ  
計測器のダイヤルの売上を上回る  
OEMのトランジスタラジオも生産

乾電池ディケード専用器  
CRC-39A  
300個の4キープ形式  
磁気テープが標準品であった

ロングウェーブTRラジオ  
TR-504  
OEM開発していた  
トランジスタラジオ

**1961-62**  
昭和36～37年

菊水電子工業株式会社  
へ社名変更  
東京都大田区高津  
資本金1億2000万円  
従業員100名

オーディオ・プロトタイプ  
計測器の生産  
計測器の生産  
計測器の生産

**1966-68**  
昭和41～43年

第一次躍進の年  
計測器の生産  
計測器の生産  
計測器の生産

**1971-74**  
昭和46～49年

創立20周年  
第一次躍進の年  
高品質、高信頼、高信頼  
電子計測器の導入

**1981-82**  
昭和56～57年

米空軍との大型発注  
オシロ 7160台 (23機中)  
F-15戦闘機に搭載される  
計測器の納入

計測器で米軍の一番礼  
毎日新聞  
初

**1985-88**  
昭和60～63年

オシロスコープCOM3000シリーズ  
グッドデザイン産業機械部門大賞を受賞  
オランダに「菊水ヨーロッパ」を設立  
英国マルコーニ・インストルメンツ社と  
日本総代理店契約締結

計測器業界初の快挙！  
グッドデザイン産業機械部門  
大賞を受賞した  
オシロスコープ  
COM3000シリーズ

オシロスコープ COM7000シリーズ  
営業が伸びることもあって  
どんどん注文が舞い込んだヒット製品

**1989-91**  
平成元～3年

株式会社店頭公開  
西東京営業所 開設  
専用物流会社  
ケイアールシー株式会社設立

1991年11月  
株式会社店頭に新規公開  
公開による新機形式約数：75万機  
発行回数：2,330円/1機

1990年10月  
立川市に  
西東京営業所  
開設

株式会社店頭の日本社 (川崎市中原区)  
増3月開 売上高11億円、従業員数380名であった

**2000-01**  
平成12～13年

ISO14001認証取得  
計測器の生産  
計測器の生産  
計測器の生産

**GOOD DESIGN AWARD 2001**









**1995**  
平成7年

ISO9001認証取得  
株式会社ホームページ開設  
全国営業拠点をオンライン化

1995年12月22日  
創業25周年記念式典  
ISO9001認証を取得  
登録番号:QA-1130

# 会社紹介

## ● 事業活動トピックス

<新製品>	<経営施策>	2003	 <中国>	 <米国>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・KES7000シリーズ(EMC)</li> <li>・KFM2030(FC)</li> <li>・PWRシリーズ(直流)</li> <li>・PCR-Mシリーズ(交流)</li> <li>・PATシリーズ(直流)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発革新活動(DSUP)</li> <li>・創立55周年記念行事</li> </ul>	2004	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊水電子(蘇州)設立(生産拠点)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・KHA1000(EMC)</li> <li>・PLZ6000R(回生負荷)</li> <li>・TOS3200(漏洩電流試験器)</li> <li>・PWR、PCR-Mラインアップ追加</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内営業所統廃合</li> </ul>	2005	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル製品上市(TOS8XXXシリーズ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キクスイ・アメリカ設立(販売拠点)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PATスマートラック</li> <li>・KHA3000(EMC)</li> <li>・PFX2511(バッテリー充放電試験システム)</li> </ul> 		2006	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大連化学物理研(DICP)技術提携</li> <li>・菊水貿易(上海)設立(販売拠点)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル製品上市(PCR-Mシリーズ)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR-LEシリーズ(高機能交流電源)</li> <li>・PWXシリーズ(薄型直流電源)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立60周年記念行事</li> </ul>	2007		 <欧州>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR-LE、PWXラインアップ追加</li> <li>・Milla-E20(電気自動車(EV)急速充電器)</li> <li>・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器)</li> <li>・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充</li> </ul> 		2008		<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州代理店網再編...</li> <li>・Electronica 2008出展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOS7210S(PID絶縁試験器)</li> <li>・TOS5200(耐電圧試験器)</li> <li>・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)</li> </ul> 		2009	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊水貿易(上海)の分公司統廃合</li> <li>・生産拠点の合理化(菊水電子(蘇州)閉鎖)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)</li> <li>・PWR-01シリーズ(直流電源)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士勝山事業所にデモルーム開設</li> <li>・Webサイト「KIKUSUI mag」開設</li> <li>・本社移転</li> </ul>	2010		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Electronica 2010出展</li> </ul>
		2011		
		2012		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Electronica 2012出展</li> </ul>
		2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深圳分公司設立</li> </ul>	
		2014		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Electronica 2014出展</li> </ul>
		2015		
		2016		<ul style="list-style-type: none"> <li>・Electronica 2016出展</li> </ul>
		2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソリューションWEBサイト開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソリューションWEBサイト開設</li> </ul>

# 会社紹介

## ● ビジネスモデル

**当社の独自性**

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)



## グローバルに販売展開！

### 電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、またEV用バッテリーの絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



### 電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

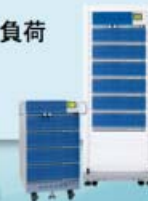
直流電源



交流電源



電子負荷



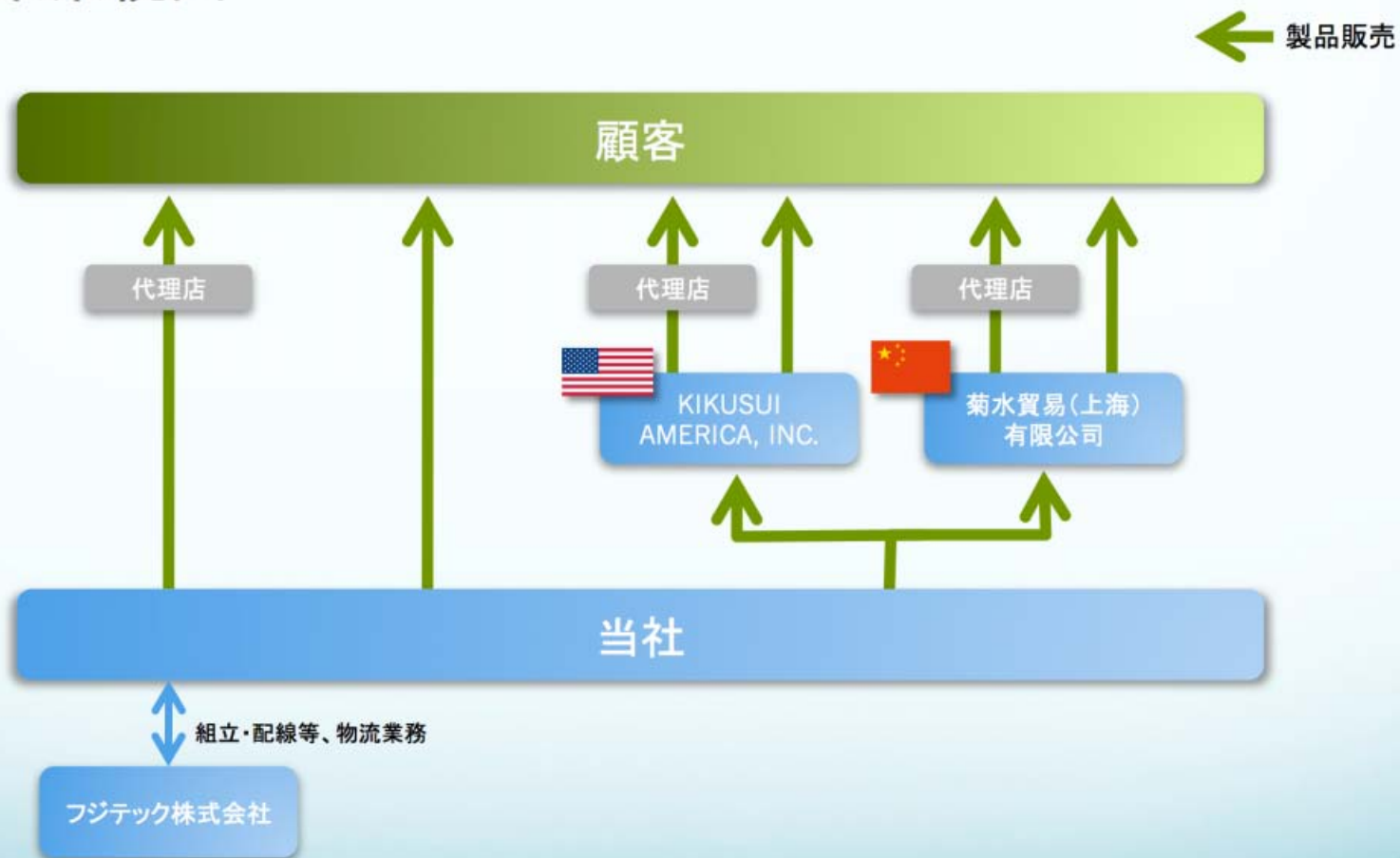
# 会社紹介

## ● 市場と製品



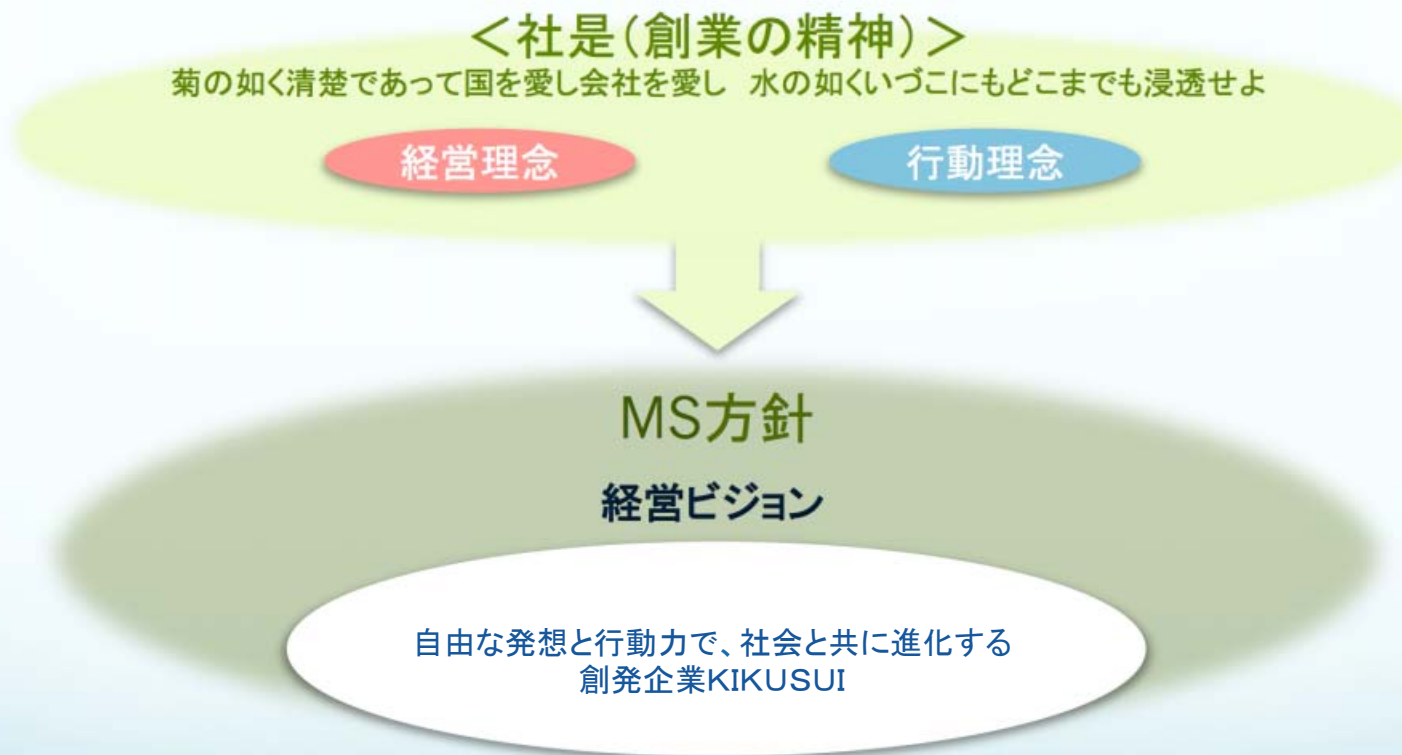
# 会社紹介

- 事業系統図



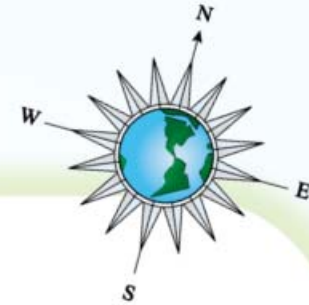
# 会社紹介

- コーポレートステートメント



# 2018年3月期 連結業績概要

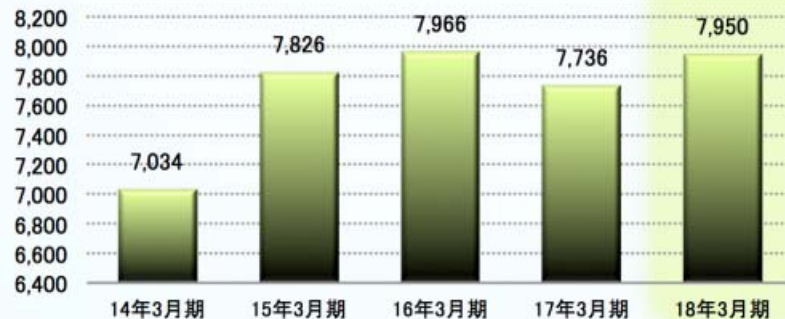
# 2018年3月期 連結業績概要



## ● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高



単位: 百万円

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



## 経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、製造業の設備投資は緩やかな増加傾向にあるものの、依然として慎重な姿勢が見られ、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは引き続き自動車関連市場、環境・エネルギー関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動や販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、海外市場での売上高が増加したこと等により79億5千万円(前年同期比2.8%増)となりました。

損益面におきましては、研究開発費の増加や本社移転、技術開発拠点である菊水創発センターの改修工事に伴う費用の計上などによる販売費及び一般管理費が増加したことにより

営業利益は4億8千1百万円(前年同期比1.8%減)

となりましたが、為替差損の減少等により

経常利益は4億8千7百万円(前年同期比4.2%増)、

親会社株主に帰属する当期純利益は3億3千8百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 損益計算書

	17年/3月期		18年/3月期		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	7,736		7,950		214	2.8
売上原価	3,746	48.4	3,821	48.1	75	2.0
売上総利益	3,990	51.6	4,129	51.9	138	3.5
販売費及び一般管理費	3,499	45.2	3,647	45.9	147	4.2
営業利益	490	6.3	481	6.1	△8	△1.8
営業外収益	43	0.6	47	0.6	4	10.2
営業外費用	65	0.8	41	0.5	△24	△36.9
経常利益	468	6.1	487	6.1	19	4.2
特別利益	85	1.1	3	0.0	△81	△95.8
特別損失	-	-	23	0.3	23	100.0
税金等調整前当期純利益	553	7.2	468	5.9	△85	△15.4
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	216	2.8	128	1.6	△88	△40.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	334	4.3	338	4.3	4	1.3
1株当たり当期純利益	39.79円		40.59円			

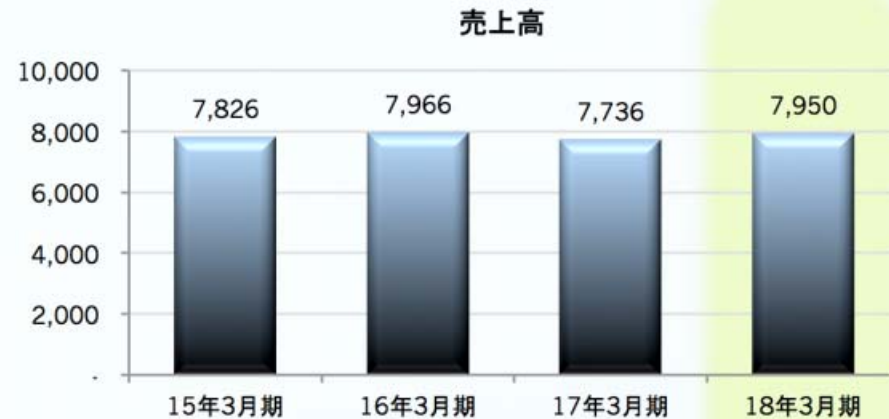
※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

※増減率について、前期または当期の数値のいずれかが、マイナスまたは1000%を越える場合は表示を「-」にしております。

# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 売上高と経常利益

- 売上高: 7,950百万円  
【前年同期 7,736百万円】 **+2.8%**
- 経常利益: 487百万円  
【前年同期 468百万円】 **+4.2%**
- 親会社株主に帰属する  
当期純利益: 338百万円  
【前年同期 334百万円】 **+1.3%**



単位: 百万円



### Point



自動車関連市場、環境・エネルギー関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動や販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、海外市場での売上高が増加したこと等により79億5千万円(前年同期比2.8%増)となりました。

損益面におきましては、研究開発費の増加や本社移転、技術開発拠点である菊水創発センターの改修工事に伴う費用の計上などによる販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は4億8千1百万円(前年同期比1.8%減)となりましたが、為替差損の減少等により

経常利益は4億8千7百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億3千8百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 製品群別売上概況

- 電子計測器：1,650百万円  
【前年同期 1,956 百万円】  $\Delta$  15.6%
- 電源機器：5,995百万円  
【前年同期 5,473 百万円】 +9.6%
- その他：304百万円  
【前年同期 305百万円】  $\Delta$  0.4%

### Point



#### 《電子計測器群》

電子計測器群においては、次世代自動車関連市場、電子部品市場及び家電関連市場への安全関連試験機器が好調に推移いたしました。前期好調だった航空機用電子機器の測定器が低調に推移したことなどにより前年実績を下回る結果となりました。

#### 《電源機器群》

電源機器群においては、次世代自動車関連市場や電子部品関連市場等への直流電源が好調に推移いたしました。また、車載関連市場及びエネルギー関連市場への交流電源や電子負荷装置に動きが見られたことなどにより前年実績を上回る結果となりました。

単位：百万円



# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 製品群別売上高構成比

- 電子計測器 : 20.8%  
【前年同期 25.3%】  $\Delta 4.5\%$
- 電源機器 : 75.4%  
【前年同期 70.8%】  $+4.6\%$
- その他 : 3.8%  
【前年同期 3.9%】  $\Delta 0.1\%$

### Point



電子計測器の落ち込み及び電源機器の増加により、電源機器の構成比率が上昇しました。

- 電子計測器
- 電源機器
- その他

単位：%



## ● 製品群別売上総利益率

- 電子計測器 : 52.2%  
【前年同期 50.0%】  $+2.2\%$
- 電源機器 : 50.9%  
【前年同期 51.3%】  $\Delta 0.4\%$

売上総利益率 : 51.9%

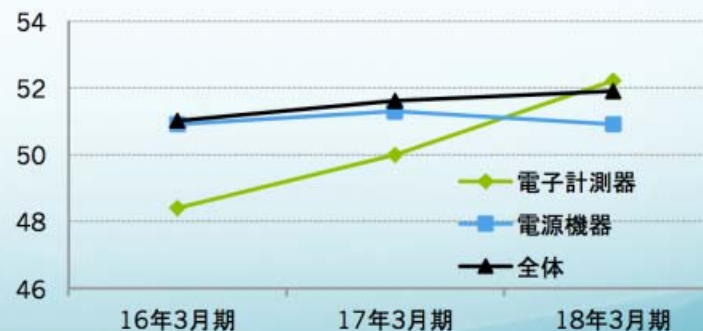
【前年同期 51.6%】  $+0.3\%$

### Point



原価低減の効果により若干改善されました。

単位：%



# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 海外売上高

- 北米: 331百万円  
【前年同期 298百万円】 +11.1%
- アジア: 1,801百万円  
【前年同期 1,647百万円】 +9.4%
- 欧州: 238百万円  
【前年同期 160百万円】 +48.6%
- その他の地域: 7百万円  
【前年同期 5百万円】 +36.5%

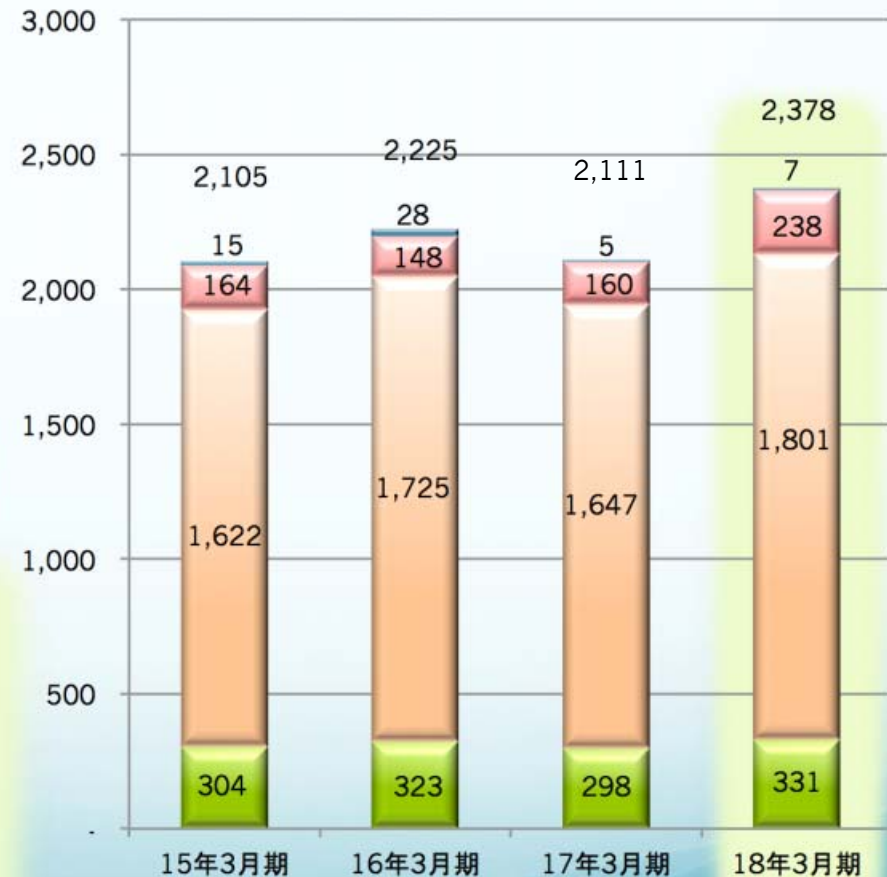
**海外販売高合計: 2,378百万円**  
【前年同期 2,111百万円】 +12.7%

### Point



米国では、IT関連市場への交流電源、車載関連市場及び電子部品関連市場への直流電源や電子負荷装置に動きが見られました。  
欧州では、車載関連市場向けや航空機関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。  
アジアにおいては、中国では、車載関連市場への安全関連試験機器、直流電源、電子機器関連市場や検査機関連向け交流電源が好調に推移いたしました。  
韓国では電子部品関連市場への安全関連試験機器、また、東南アジアでは家電関連市場への安全関連試験機器にそれぞれ動きが見られました。

■北米 ■アジア ■欧州 ■その他 単位:百万円



# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 研究開発投資(対売上高比率)

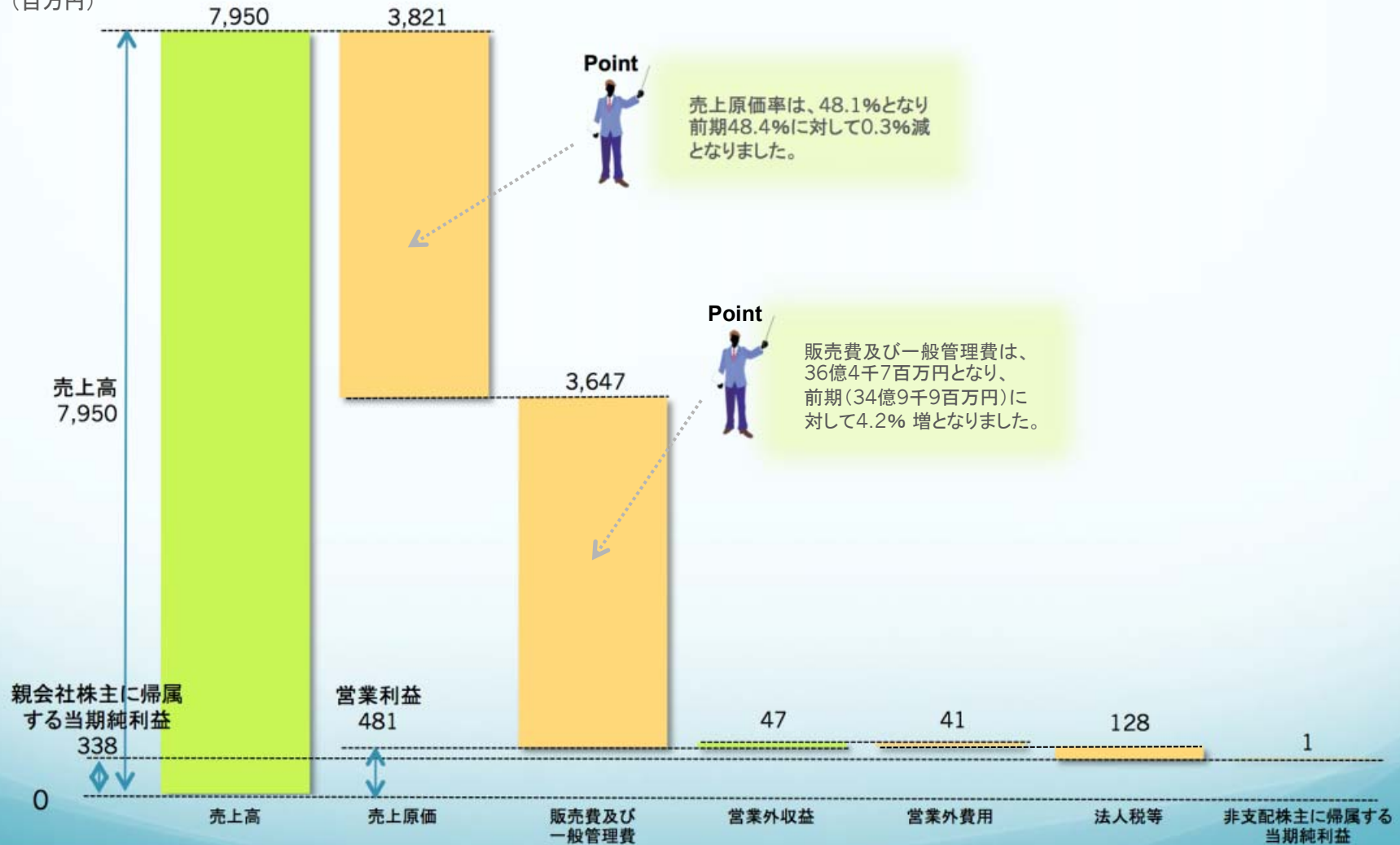
- 1,164百万円(14.6%)  
【前年同期 1,089百万円(14.1%)】



# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 損益の概況

(百万円)



# 2018年3月期 連結業績概要

## ● 貸借対照表

単位:百万円

【資産の部】	17/3期	18/3期	増減
流動資産合計	7,036	7,160	124
固定資産合計	4,144	4,776	632
<b>資産合計</b>	<b>11,180</b>	<b>11,937</b>	<b>756</b>
【負債の部】	17/3期	18/3期	増減
流動負債合計	1,370	1,752	202
固定負債合計	792	909	116
<b>負債合計</b>	<b>2,162</b>	<b>2,482</b>	<b>319</b>
【資本の部】	17/3期	18/3期	増減
資本金	2,201	2,201	0
資本・利益剰余金	7,090	7,245	154
自己株式	△718	△750	△32
その他の包括利益累計額合計	405	720	314
非支配株主持分	37	38	1
<b>純資産合計</b>	<b>9,017</b>	<b>9,455</b>	<b>437</b>

# 2018年3月期 連結業績概要

## ● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円      16年/3月期   17年/3月期   18年/3月期      単位:百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー	280	326	257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△35	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△235	△218
現金及び現金同等物の増減額	△10	47	△334
現金及び現金同等物の期首残高	2,830	2,819	2,867
現金及び現金同等物の期末残高	2,819	2,867	2,533

### Point



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上等による資金の増加が、たな卸資産の増加等による資金の減少を上回り、2億5千7百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、△3億7千5百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払い等により、△2億1千8百万円となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、3億3千4百万円減少し、25億3千3百万円となりました。

単位:百万円



# 2019年3月期 連結業績予想

## 2019年3月期 連結業績予想

	18年/3月期	19年/3月期		
	当期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	7,950	8,350	400	5.0
営業利益	481	590	109	22.5
経常利益	487	610	123	25.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	338	410	72	21.0

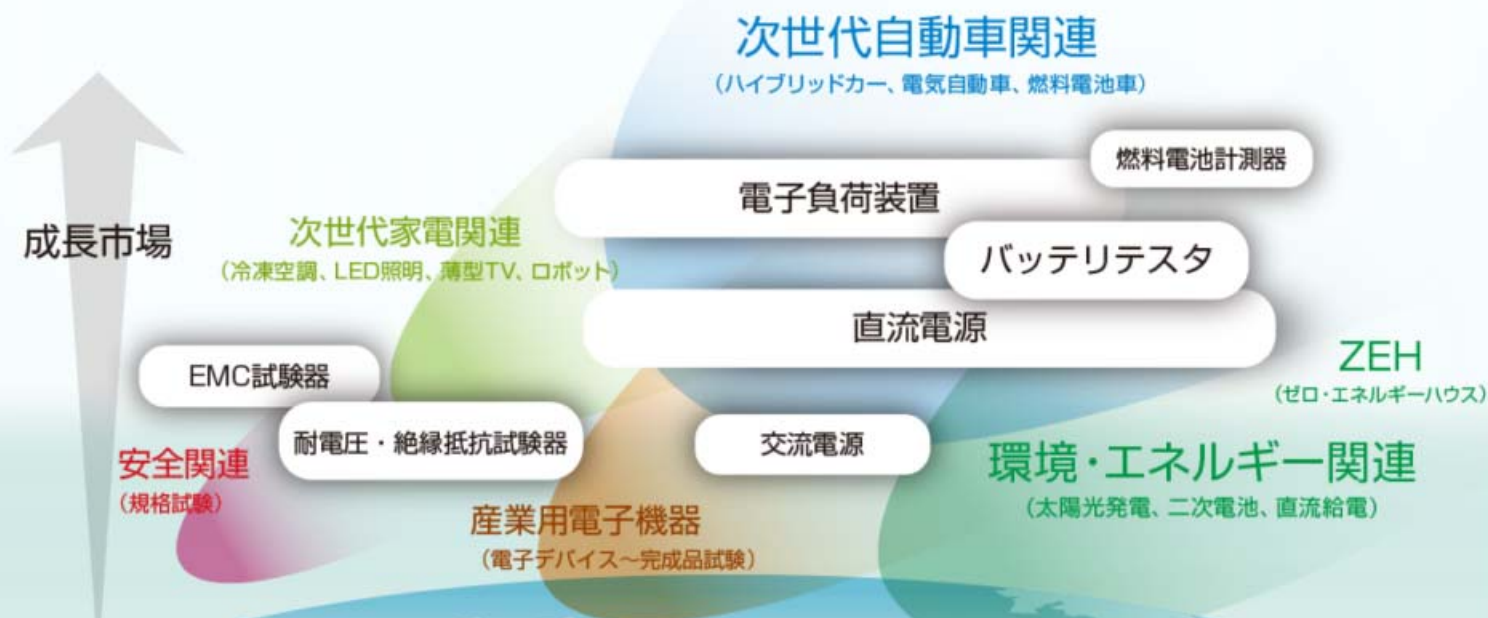
  

	18年/3月期	19年/3月期		
	当期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)	前期比増減率(%)
1株当たり 配当金	22.00	22.00	0	0.0

# 今後の事業戦略

# 今後の事業戦略

## 次世代自動車分野に注力



米国、アジア(中国, 韓国)を中心に海外市場拡販を強化!

## 本資料における注意事項

本資料は、2018年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2018年5月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水電子工業株式会社 総務部 IR担当

TEL: 045(482)6912 E-mail: [ir@kikusui.co.jp](mailto:ir@kikusui.co.jp) URL: <http://www.kikusui.co.jp/>